

防犯活動日記

(2/18 南西部地域振興センター)

今回は朝霞市の東南部町内会 児童見守り隊の
パトロールにお邪魔し、お話を伺いました。



■子供の見守り活動を始めたきっかけは？

子供の誘拐事件があったことをきっかけに、14年ほど前に町内会で呼びかけて児童見守り隊ができました。

現在では、3つの小学校から下校する子供たちを見守るため、広い範囲に点在して活動を行うようになりました。



■パトロールはどのように行っていますか？

緑の防犯ベストとオレンジの帽子などを着用して、平日毎日の下校時間帯を中心に、朝霞第

二小・第八小・第九小の児童の見守り活動を行っています。

朝の登校時の見守りや、登下校以外時間帯以外の日中に防犯パトロール、犬の散歩を兼ねたパトロールをしている隊員もいます。

参加人数は全部で14人ほどです。長年活動が続けてきたので、参加者の高齢化で人数が減った箇所もあります。



■どのようなことを心がけて子供の見守り活動を行っていますか？

「声を掛けること」を意識しています。

防犯ベストなどを着用していたり、何度も会っていると、声をかけてもらいやすくなります。

当初は子供たちに声を掛けても挨拶が返ってこなかったのですが、今では子供たちから隊員に話しかけてきます。



■子供の見守り活動を行うなかで良かったことを教えてください

毎日子供たちから元気をもらえることです。子供たちは、好きな給食の話などを楽しそうにして

くれます。私自身、79歳でも元気にしています。

隊員の皆さんと集まって話す機会ができたことも良かった点です。

子供の見守りや防犯街灯のLED切替など、今後も防犯活動を続けていきたいです。

本日は、ご協力いただきありがとうございました。
今後ともよろしくお願いします！